

てポイントを交付。このポイントを介護保険料や介護サービスの利用料に充てることができる「介護支援ボランティア制度」を導入してはどうか。

健康福祉部長 この支援そのものが、高齢者のみならず、ボランティア活動全体にかかわることも含まれますので、もう少し、市民全体の中で議論していきたいと考えます。

健幸体操を広めては

問 岩沼市は今回「いわぬま健幸体操」を考えた。そこで、この体操をどのように地域展開していくのか。

健康福祉部長 今年度はまず介護予防事業として、口腔機能維持向上を目的に「お口の健幸教室」や運動機能向上を図る「健幸ライフアップ教室」を中心に広めていきたいと考えます。



渡辺 真多

「いわぬま」とは

問 先の議会の一般質問で市長から「岩沼らしさ」のイメージは持っていないとの答弁があった。岩沼らしさは大事なイメージだ。明確なイメージを持っていないければ的確な政策や施策が打てないのではないか。

市長 「らしさ」というのは相当大ざっぱな表現です。しかし、岩沼らしさは当然出していかなければなりません。岩沼らしさをぜひつくり出したい。特にイメージを明確にしていきたいと思います。

新しくつくっては

問 岩沼らしさは、岩沼の持っているいろいろな特性を踏まえることは当然だが、新しくつくっていく考えも必要なのではないか。

市長 岩沼の独自性、個性をより引き出すような形でまちづくりをすれば、それぞれの分野で岩沼らしさが出てきます。「岩沼はこうなんですよ」というところまで高めていかなければならないと思っています。

岩沼駅前整備事業



大友 克寿

問 用地買収の進捗状況は。

市長 初年度の平成20年度は、地権者の皆さまのご協力により、用地買収を3件、建物等の移転補償を6件行いました。これからは、用地買収を2件、物件補償を7件進めていかなければならないと思います。

問 代替物件として取得した日本通運仙南支店について方向性は。

市長 どなたが活用いただけるか、引き続き交渉を進めていかなければならないと思います。

にぎわいある駅前を

問 駅前整備事業計画をもっと市民に知ってもらいたい必要があると思うかがか。

市長 これまでも必要に応じて広報やホームページに掲載してお知らせしていますが、より多くの皆さまにご理解をいただけるよう、さらに努力しなければなら

ないと思います。

問 駅前広場の整備とともに岩沼駅前の「にぎわい」をつくるための仕組みづくりを考えてはいかがか。

市長 岩沼市としては道路と駅前広場を整備しますが、隣接する民有地がどうなるかも重要だと思えます。にぎわいをつくることには、商工業者の方に積極的に対応していただき、市として必要な支援を進めていかなければならないと思えます。



岩沼駅前

行政の危機管理対策



灰戸 幸次

問 新型インフルエンザなどに対する行政の対策と取り組みはどうか。

市長 われわれとしては、感染を予防することに力を入れ、いざ感染者がいた場合は広がらないようにしなければなりません。

また、その時期において例えば施設の閉所、閉館となった場合に影響を受ける人たちに、どこまで岩沼市として対応できるか。そしてそれぞれの場合、職員はどういった対応をしなければならぬか等を含め、7月中には、岩沼市として行動計画を策定していきたいと思えます。

問 凶悪事件等の発生に対する市民への情報提供の対策と取り組みはどうか。

市民経済部長 岩沼市安全・安心まちづくり条例に基づき基本計画を策定しているところで、その中で具体的方針・方策として地域情報の提供を掲げています。

救急医療体制を整えて

問 24時間救急医療体制の整備の取り組みはどうか。

健康福祉部長 新たに平